

報道関係者各位

2019 年 4 月 25 日
シュナイダーエレクトリック

シュナイダーエレクトリック、電力密度向上をサポートする高効率 「Uniflair InRow DX」データセンター冷却ソリューションを発売

- 省スペース化により IT 機器に利用可能な設置スペースが拡大
- 室外機の設置面積を約 50%削減

エネルギーマネジメントおよびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、データセンターやサーバールームの局所冷却「Uniflair™ InRow Cooling」シリーズから、従来機よりも単位面積あたりの冷却能力を大幅に向上した「Uniflair InRow DX 300mm」を国内で発売します。受注開始は、8 月 5 日を予定しています。

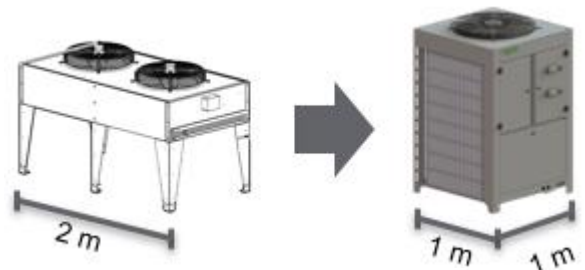
「Uniflair InRow Cooling」シリーズは、データセンターやエッジのサーバールームのポッド、IT ラック列内に組み込み、高発熱サーバーの冷却を行う局所冷却ソリューションです。今回発売する「Uniflair InRow DX 300mm」は、冷却に水を使わない空冷方式を採用しています。チラー（冷却水循環装置）や水配管設備がない建物でも高発熱エリアへの対策として増設が可能です。また、筐体および室外機の省スペース化により、より多くの IT 機器の設置スペースが確保できます。コンパクトなのにパワフルでエネルギー効率に優れた設計となっているため、中小規模のデータセンターや企業内のサーバールームなどオンプレミスの高密度エッジ環境に最適です。



Uniflair InRow DX 300mm

Uniflair InRow DX 300mm の主な特長

- 高効率：熱を発する機器の近くに組み込み、負荷に合わせて運転することにより、効率よく冷却が行えます。
- 省スペース：従来機 600mm 幅から 300mm 幅になったため、IT 機器の設置面積を拡大できます。また、室外機の据え付け面積を 50%削減しました。
- 運用性向上：圧縮機などの主要部品や高圧力部品を室外機に組み込んだことにより、InRow 空調機のスペース当たりの冷却能力が向上しました。また、IT スペースでのメンテナンス作業が不要になり、作業ミスによる故障を抑制します。



室外機の据え付け面積を削減

Schneider Electricについて

シュナイダーエレクトリックは、ビル、データセンター、電力インフラ、工場に向けたエネルギーマネジメントとオートメーションの「デジタルトランスフォーメーション」を推進しています。世界100か国以上で事業を展開し、低・高電圧およびセキュアパワーのエネルギーマネジメントとオートメーションシステムの分野で名実ともに業界のリーダーです。エネルギー、オートメーション、ソフトウェアを組み合わせ、統合された効率化システムを提供します。

当社のグローバルなエコシステムの中で、当社のオープンプラットフォームを活用しさまざまな企業や開発者コミュニティと連携することで、リアルタイム管理や高効率な運用を実現します。私たちは当社をとりまく素晴らしい人々やパートナーに支えられ、そして技術革新・多様化・持続可能性へのコミットメントを通して、いつでも、どこでも、だれにでも「Life Is On」を実現します。

www.se.com/jp

2018年11月20日にWEBドメインを変更しました。

Discover Life Is On

Discover EcoStruxure

Hashtags: #EcoStruxure #LifeIsOn #inrow #uniflair

Follow us on:

